医薬品産業の振興とそれを担う専門人材の育成・確保

○事例概要

「くすりのシリコンバレーTOYAMA」創造コンソーシアムでは産学官が連携し、 富山県の医薬品業界で活躍する人材の育成や、アカデミア発研究シーズの実用化を目指しています。

画像（最低１枚）

富山から世界へ

富山くすりコンソ

産学官共創プラットフォーム

○事業の取組み内容

・人材育成事業

富山くすりコンソに参加している大学や企業などと連携し、全国の大学生等を対象に、医薬品づくりに関わる知識や技術を学べるプログラムを実施しています。

受講生は、北海道から鹿児島まで全国各地から参加しており、令和7年度には計87大学279名に受講いただき、アンケートでは99.2%の受講生から満足との評価をいただいています。

また、大学生向けのプログラムに加え、県内企業の若手技術者向けの研修や交流の機会も設けており、将来の医薬品産業を担う人材の育成に取り組んでいます。



全国の学生が富山県内製薬企業で研修

・研究開発事業

[研究成果の一例]

小さなお子さんや高齢の方でも飲みやすいように、直径約2ミリの小さな錠剤をつくる技術の開発に取り組んでいます。

県の研究機関と地元企業が協力し、これまでにない加工技術を活用することで、小さくても品質の高い薬をつくることが可能になりました。

誰もが安心して薬を服用できる社会を目指し、研究を進めています。



試作したミニタブレット(左)と一般的な錠剤